

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(320)(HP 収載)

—バッハの曲のギター演奏—

1. 始めに

前報(319)に引き続き、STAGE+のバッハの曲のギター演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(319)に引き続きバッハの曲のギター演奏を選びました。

Festive Nocturnes

演奏:

ラファエル・フィヤートル

曲目:

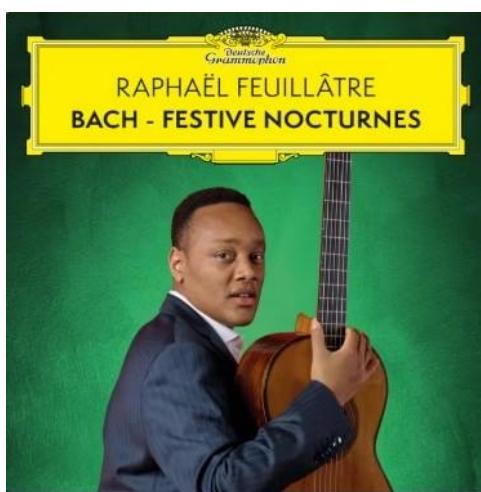
アウグスティン・バリオス Villancico de Navidad

ヨハン・セバスティアン・バッハ Herz und Mund und Tat und Leben, BWV 147

Jesu, Joy of Man's Desiring (Arr. Russell for Guitar)

Ich steh an deiner Krippen hier, BWV 469 (Arr. Feuillatre for Guitar)

トラディショナル Auld Lang Syne (Arr. Feuillatre for Guitar)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

バリオスはスペインのクラリックのギタリストで、Villancico de Navidad は親しみやすい曲です。

バッハの 2 曲は、お馴染みのカンタータからのアリアなどのギター曲への編曲です。

トラディショナルの Auld Lang Syne は、スコットランド民謡で日本では螢の光として親しまれています。

いずれも、豊かな余韻も含めて親しみのある曲のギターの柔らかい響きが聴けました。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、親しみのある曲のギターの柔らかい響きが聴けました。

以上